



大妻多摩中学校

二〇二三（令和五）年度

適性型思考力入試問題

【読解表現（作文）】

時間 50分

2月1日（水）

【注意事項】

- 1 問題は4ページまであります。
- 2 指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 3 ページが抜けていたり、印刷が見えにくい場合には、手をあげて知らせてください。
- 4 答えはすべて、問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 5 問題冊子の6ページは下書き用として活用してください。

◎次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

新年早々、宮崎県の高千穂町で世界農業遺産・日本農業遺産の認定地域合同シンポジウムに出席した。

世界農業遺産は、世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域を、国連食糧農業機関（FAO）が認定する制度だ。

総合地球環境学研究所がその制度設計に関わり、6年前に高千穂郷・椎葉山地域が選定された際もお手伝いをした経緯がある。日本農業遺産も、何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わり育まれた文化、景観などが相互に関連するシステムを認定する制度だ。宮崎県では昨年、日南市と田野・清武地域が選ばれている。どちらの遺産も将来に受け継がれるべき重要な農林水産業システムとして期待されており、シンポジウムには、地元の五ヶ瀬中等教育学校を訪問して生徒たちと暮らしや将来について話をした。

高千穂地域は急峻な霊峰がそびえる山地で、高千穂神社や天岩戸神社がある。人工林や照葉樹林、落葉樹林がほどこよい割合で維持され、斜面には美しい棚田が広がる。聞けば、

わずかな高低差を利用して数十キロ離れた奥地の水源から水路を引いて維持しているという。黒毛和牛の特産地でもあり、農業、畜産業、林業が調和よく組み合わされ、神楽や数々の神話にもとづく伝統文化の下に生き生きとした暮らしを営んでいる。

*

私は屋久島やコンゴ民主共和国の世界自然遺産に指定された地域で、生態系の調査研究やエコツーリズムの推進に関わってきた。自然遺産の目的は、世界の財産と認定された自然の価値を失わないよう、地元政府と国際的な協力により維持・管理することだ。一方、農業遺産は地域コミュニティの食料や生計の保障に貢献しつつ、農業生物多様性や伝統文化、景観の維持を図ることに主眼が置かれている。システムの内容は変わってもいいし、管理・発展計画と次世代への継承が重要になる。

4年前に訪問したブータンを思い出した。高千穂郷と同じように山々が連なり、斜面は棚田で覆われていた。植林により森林が維持され、農業が国の主産業だ。京都大学の交流事業の一環として訪問したのだが、国民総幸福（GNH）とい

う指標を打ち出したジグミ・シンゲ・ワンチュク第4代国王にお会いできた。国王は、国民に精神的な豊かさをもたらすために農業が最も重要と述べられた。幸福とは個人に属するものではなく、人々の間に生じるとい言葉も、強く印象に残っている。

新型コロナウイルスによるパンデミックを体験して、私たちは労働のあり方を見直すきっかけを与えられた。農業遺産という仕組みはそのきっかけとなるのではないだろうか。

人類史における農業の登場は、食料を生産し保存する技術を高めることで、定住と人口増を促し、大規模な社会を構築する出発点になったと言われる。しかし、農耕が始まる前に、人類は複数の家族からなる共同体という重層構造の社会を作り上げていた。道具と調理技術の発達により、多様な野生の動植物を食料にしていた。すでに私たちが話すような言語を駆使し、多様な物語を人々は伝えあっていた。最近の研究では、農業より前に定住生活が始まり、それが有用な作物を人家の近くに繁茂させる結果となり農耕が促されたという説が登場している。山菜や漁業資源が豊富な日本では、世界に比べて農耕の始まりが遅く、定住型の狩猟採集による縄文時代

が長く続いた。稲作が大陸からもたらされても、すぐには日本列島全体に広がらず、弥生文化には縄文文化が色濃く残されていることがわかってきた。

しかも、大型哺乳類を家畜にして肉やミルクを利用した西洋と違い、明治になるまで日本には食用家畜が欠けていた。西洋の牧畜社会は、家畜飼養により畑地を広げ、大規模な牧場を山地に作った。ほとんどの森林は伐採されて草原に変わり、家畜が媒介する多くの感染症を流行させる結果を招いた。森林を神の領域として残し、大型家畜を耕作用や運搬用にしか使役しなかった日本は、西洋とは異なる歴史を持っている。

*

農業は自然の時間に従って作物を育てる労働であり、農事暦は季節の移り変わりを労働に読み込む仕組みだった。狩猟採集と違い、老若男女すべてが労働に従事でき、働くことによって共同体のきずなが強められる結果をもたらした。しかし、産業革命によって時間を人が管理し、工場に労働者を集めて効率と生産性を重視する時代になった。緑の革命によって大量の化学肥料がつけ込まれて土壌がやせ、遺伝子

組み換え作物の導入によって大企業が種子や肥料を独占し、各地の自然特性に合わせた農業ができなくなった。今はなるべく自然の影響を遮断し、温室や工場で作物を栽培する科学技術が高まっている。たしかに生産力は高まったかもしれないが、農業という太陽と水と土に親しむ労働の意義は忘れられつつある。

農業の原点は食料の生産を通じて人々がつながることだった。農業は共感力を高め、共助の精神を醸成する仕組みだった。私たちはいま一度、幸福をもたらす農業とは何かを考え直さねばならないのではないだろうか。

(山極寿一 「農業の原点に学ぶ 自然に従う労働の豊かさ」

〔二〇二二年二月十日朝日新聞朝刊〕より)

問1. 「国王は、国民に精神的な豊かさをもたらすために農業が最も重要と述べられた」とありますが、この国王の言葉に筆者は感銘を受けたと考えられます。それは農業を本来どんな性質を持った労働だと筆者は定義づけていたからですか。五十五字以上六十五字以内で説明しなさい。

問2. 「農業という太陽と水と土に親しむ労働の意義は忘れられつつある」とありますが、労働の意義がなぜ「忘れられつつある」と筆者は考えたのですか。六十字以上七十字以内で説明しなさい。

《問1と問2を解答する上での注意》

- ・ 縦書きで書くこと。
- ・ 書き出しは、一マス空けずに書くこと。
- ・ 段落をかえないこと。
- ・ 句読点が二行目の先頭にきてもそのまま書くこと。

問3. 本文中に「エコツーリズム」とありますが、「エコツーリズム」とは「地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組み」になります。あなたの住んでいる（住んでいた）地域、または以前に旅行した地域の中から一カ所を選び、その地域の良いところを「つ挙げ、それをどのようにしたら長く維持しつづけられるかを考えて四〇〇字程度でまとめなさい。「地域の良いところ」には自然・街の様子・建物・行事などが含まれます。なお、紹介する場所の地名を文中に必ず入れること。

《問3を解答する上での注意》

- ・ 縦書きで書くこと。
 - ・ 書き出しと段落の最初は、一マス空けること。
 - ・ 段落をかえたときの残りのマス目は字数として数えること。
 - ・ 句読点や「」（ ）などを原則として一マス使うこと。
- ただし、行の先頭にきてしまう場合は、前の行の最後のマスを付け加えること。
- ・ 文末の表現は「です・ます」でも「だ・である」でもよいが、文体は統一して用いること。



